

小児がん征圧キャンペーン「生きる 若い命を支えるコンサート」。

今回は、日本を代表するピアニストの横山幸雄さんと国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめるサクソフォンの上野耕平さんをお迎えします。

国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーとその誠実な指揮でいずれも高い評価を得ている大井剛史さんの指揮による神奈川フィルハーモニー管弦楽団との競演をご堪能ください。



photo, ZIGEN

横山 幸雄 (ピアノ)
Yukio Yokoyama, Piano

第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞後、常に第一線で活躍を続け、2021年にはデビュー30周年を迎えた。各地の一流オーケストラやアーティストとの共演で絶大な信頼と評価を得ると共に、10年にわたる東京FMの番組でのパーソナリティや、数十枚に及ぶCD制作などにおいても高い評価を得ている。

東京オペラシティにて3日間にわたるショパン全作品240曲演奏会を行った他、余人の到達しえない憂と深みを究めた「ショパン」の演奏で聴衆を魅了し続けている。東京文化会館大ホールでの2日間にわたるベートーヴェン生誕250年記念ピアノソナタ全32曲連続演奏会などの壮大な企画で注目を浴びる一方、自身がプロデュースするリストランテペガソやキメラ、ピアンカーラサロンでのより身近に音楽を感じられる機会を創出している。教育の分野では、後進の指導にも積極的に関わり、故中村絨子女史の後を受けての日本バデレフスキ協会会長を務める。

多方面で才覚を発揮し、我が国の音楽界を牽引するトップアーティストとして、その地位を確たるものとしている。

横山幸雄オフィシャルサイト <https://yokoyamayukio.net>

上野 耕平 (サクソフォン)
Kohei Ueno, Saxophone

8歳から吹奏楽部でサクソフォンを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。2014年第6回アドルフ・サクソ国際コンクールにおいて、第2位を受賞。

常に新たなプログラムに挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。

現在、国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめ演奏活動のみならず、ラジオの司会などメディアへの出演や、サクソカルテット「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽「ぼんだウインドオーケストラ」のコンサートマスターとしても活躍中。

CDデビューは2014年、最新のソロアルバムは「アドルフに告ぐII」

2018年第28回出光音楽賞受賞。2018年第9回岩谷時子賞 奨励賞受賞。

OfficialHP: <http://uenokohei.com>



photo, S.Ohsugi



photo, K.Miura

大井 剛史 (指揮) Takeshi Ooi, Conductor

1974年生まれ。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。若杉弘、岩城宏之、レヴァイン、マズア、ジェルメティ、カラブチェフスキーの各氏から指導を受ける。

東京藝術大学指揮科を卒業後、1999年同大学院指揮専攻修了。1996年安宅賞受賞。2000～01年、仙台フィルハーモニー管弦楽団の副指揮者として研鑽を積み、2007～09年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。

2008年アントニオ・ベドロッチ国際指揮者コンクールで第2位入賞。2009～16年までニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団) 常任指揮者、2009～13年山形交響楽団指揮者、2013～17年同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。このほかほとんどの国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーと誠実な指揮でいずれも高い評価を得ている。

新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、オペラ、バレエ、など幅広い分野で意欲的に活動している。

東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 Kanagawa Philharmonic Orchestra



photo, 青柳聡

1970年に発足。地域に密着した音楽文化の創造をミッションとして、神奈川県全域をはじめ、全国各地で幅広い活動を続けている。1978年に一般財団法人、2014年には公益財団法人として認定されている。

横浜を中心とする定期演奏会などの主催公演に加えて、県内各地で地域との協力による特別演奏会を開催し、オペラ、バレエ、レコーディングなどでも数多く出演している。音楽教育にも積極的で、小中学校での音楽鑑賞教室を全国各地で開催し、0歳からのコンサートなど広い世代に音楽の魅力を伝え、神奈川フィルの支援者を増やす取り組みを行っている。YouTubeチャンネルによる映像配信や、ソーシャルネットワークサービス(SNS)など幅広いメディア利用に意欲的に取り組み、多方面で注目を集めている。現在、指揮者陣には、名誉指揮者に現田茂夫、特別客演指揮者に小泉和裕、常任指揮者に川瀬賢太郎を擁している。2020年には創団50周年、2022年度より沼尻竜典を音楽監督に迎える予定で、実力、人気ともに、益々注目されているオーケストラである。

ホームページ <https://www.kanaphil.or.jp> Twitter @kanagawaphil



生きる ～若い命を支えるコンサート とは

毎日新聞社は1996年から、小児ガンと闘う子供たちを支援するキャンペーン「生きる」を展開しており、様々なイベントやコンサートを通じて、病気への理解と協力を訴えてきました。2007年度、クラシック・ヨコハマ版生きるとして誕生したのが「生きる～若い命を支えるコンサート～」で、今回13回を迎えます。このコンサートでは、著名な音楽家に加え、全日本学生音楽コンクール入賞者が参加して、病気と闘う同世代に励ましのメッセージを送っています。

僕も応援しているよ!

マルタ